

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38318
事業名	札幌プレミアム商品券事業費					
評価担当課	所 属	経)産業振興部 商業・経営支援			電話番号	011-211-2568
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や物価高騰が市民生活や地域経済にマイナスの影響を及ぼしている。
	事業内容 (何を実施し)	<事業内容> 札幌プレミアム商品券実行委員会が、新型コロナウイルス感染拡大の長期化や物価高騰の影響を受けている市民生活の支援及び地域経済の活性化を目的として、プレミアム付き商品券を150万冊発行。 1冊(※)5,000円分の商品券を4,000円で販売。※1冊／500円×10枚綴り <事業結果> (1)商品券の購入申込結果(有効数) 申込人数:327,191人 申込冊数:1,539,647冊 (2)抽選結果 申込冊数が発行冊数を上回ったため、当選冊数が150万冊になるよう抽選を実施 (3)商品券の購入実績 冊数ベース:1,428,188冊(14,281,880枚)※購入率:95.2% (4)商品券の換金実績 購入済商品券14,281,880枚のうち、14,237,620枚が利用・換金 ※換金率:99.7% (5)参加店舗の登録総数 8,760店舗
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	新型コロナウイルスの感染拡大の長期化や物価高騰に伴う消費の減退をできる限り抑えることにより、中長期的に市内消費が堅調に推移する一助とし、幅広い世帯の家計の負担緩和を図るとともに、個人消費の喚起を促す。
	他都市の状況	令和5年度 小樽市で実施。利用期間は令和5年11月1日(水)～12月31日(日) 令和5年度 函館市で実施。利用期間は令和5年11月1日(水)～令和6年4月30日(火) ※全国では名古屋市、大阪市などが実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	300 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.3 人工
令和5年度予算額	2,199,700 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.8 人工
令和5年度決算額	2,101,618 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.3 人工
令和6年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット 活動指標1	商品券の販売				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			150万冊	1,428,188冊			
	↓						
	アウトカム 成果指標1	市内における商品券利用額				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			75億円	約71億円			
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	購入された商品券1,428,188冊のうち、99%にあたる1,423,762冊(7,118,810,000円)が市内で消費された。利用額が100%にならなかった原因は利用者による商品券の紛失・使い忘れ、参加店舗による換金忘れなどが考えられる。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	本事業は令和5年度をもって事業終了。
来年度以降の方向性	同上。